

2021年3月25日

# ビルメンテナンス業のDXを加速 ファシリティ ログ 施設管理ソリューション「Facility Log®」を導入 オムロン ソーシャルソリューションズと協業

相鉄企業株式会社

相鉄グループでビルメンテナンス業などを行う相鉄企業(株) (本社・横浜市西区、社長・佐武 宏、以下相鉄企業) では、2021年3月25日(木)に施設の点検・管理業務を請け負っている9施設へ、施設管理ソリューション「Facility Log®」(以下、同ソリューション)を導入しました。

オムロン ソーシャルソリューションズ(株) (本社・東京都港区、社長・細井 俊夫、以下OSS) と相鉄企業がパートナーシップを結び、現場の業務革新と管理施設の価値向上をめざして、約2年にわたる検討期間を経て、実現したものです。

同ソリューションでは、スマートフォンや各種IoTセンサーの活用、既存の中央監視装置との接続により、設備の点検結果や各種データが管理用ポータルで蓄積・共有され、一覧することが可能となります。これにより、作業の進捗状況や、設備の運転状況などを一目で把握することができます。これまで培ってきたビルメンテナンス業のノウハウを結集した実効性のあるソリューションとなっています。

2020年11月から、相鉄企業が管理業務を請け負っている複数施設で実施した実証実験では、各種点検業務において、約20~40%※1の作業時間削減を達成しました。

相鉄グループでは、将来的な働き手減少への対応として、AIを含むICT(情報通信技術)などを活用した運営の効率化・省力化を進めており、この一環として、ビルメンテナンス業においてもICTを積極的に活用し、効率的で質の高いオペレーションの実現に向けて取り組みを行ったものです。

今後は、同ソリューションを積極展開することで、さらにビルメンテナンス業のDX(デジタルトランスフォーメーション)※2を加速してまいります。

概要は別紙のとおりです。

※1 実証実験での実測、ならびに各種展開を想定した評価の合算値であり、建物規模、用途などによって削減効果は変動します。

※2 データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること。



「Facility Log®」(イメージ)

## 施設管理ソリューション「Facility Log®」の概要

### 1. 導入開始日

2021年3月25日（木）

### 2. 導入の背景

近年、施設の保守・管理において、人手不足を背景に、オフィスビルや商業施設など現場の点検・管理業務の効率化が喫緊の課題となっています。点検作業は、紙での管理が常態化しており、点検結果の転記や清書などの作業が発生している他、点検結果のデータ化とその活用が課題となっていました。

そこで、OSS と相鉄企業は、それぞれの持つ技術やノウハウを結集し、施設管理ソリューション「Facility Log®」を実現しました。

今回、第1弾として相鉄企業が請け負う9施設に導入したものです。今後、100施設以上への導入を目指します。

### 3. 概要

- ・スマートフォン点検アプリの活用による現場点検の効率化
- ・既存の中央監視装置との接続による、データ自動取り込み機能
- ・点検帳票の自動生成
- ・ビルメンテナンス会社の知見を反映した各種機能  
(データ管理値設定、過去履歴閲覧、コメント参照機能)
- ・点検結果や各種データ、作業の進捗状況などを、可視化

### 相鉄企業(株)の概要

- |         |   |
|---------|---|
| 1. 会社名  | 相鉄企業(株)   |
| 2. 所在地  | 横浜市西区北幸二丁目9番14号                                   |
| 3. 資本金  | 1億円   |
| 4. 社長   | 佐武 宏  |
| 5. 設立   | 1961年11月  |
| 6. 事業内容 | 総合建物サービス業（ビルメンテナンス業、環境サービス業、設備工事業、指定管理者業務）、不動産賃貸業 |